Redfin: 2014 年以来最高レベルの全現金住宅販売

FEB 2023 — Redfin の最近のデータによると、2022 年 10 月のオールキャッシュ住宅販売は 8 年以上で最高レベルに達しました。

米国の住宅購入の約 3 分の 1 (31.9%) が 10 月にすべて現金で支払われました。これは前年の 29.9% から増加し、2014 年 2 月以来の最高の割合です。

2020 年 4 月に過去最低の 20.1% に達した後、すべての現金を使用した住宅購入の割合は 2021 年初頭に増加し始めました。

「今日の裕福な住宅購入者は、住宅ローン金利の急上昇により、ローンを避けたいと思うようになり、ローンとそれに伴う毎月の高い利息の支払いをすべて回避したいため、現金で支払うことに動機付けられています。住宅ローンの金利はここ数週間で低下しましたが、依然として 6% を超えています」と、Redfin の経済調査リーダーである Chen Zhao 氏はリリースで述べています。「パンデミックの住宅ブームの間、バイヤーは低金利のために現金で支払うように促され、それが競争を促進し、すべて現金のオファーを余裕のある人にとって効果的な交渉チップにしました。」

この分析では、2021 年 10 月から 2022 年 10 月にかけて、全現金による住宅購入が 39 都市のうち 29 都市で増加しました。最も増加したのはカリフォルニア州リバーサイドで、住宅販売全体の 19.2% から 38% に増加しました。次いで、クリーブランド (32% から 47% 上昇)、シンシナティ (29.6% から 43.9% 上昇)、ペンシルバニア州モンゴメリー郡 (22.7% から 31.2% 上昇)、フィラデルフィア (29.4% から 37.1% 上昇) が続く。.

西海岸の大都市圏は、すべての現金購入のシェアが最も低い場所のリストを独占しています。ベイエリアではあまり一般的ではありません。カリフォルニア州サンノゼではわずか 14.3%、カリフォルニア州オークランドでは 16.5% の住宅購入が現金で行われました。シアトル (19%)、ロサンゼルス (19.2%)、ニュージャージー州ニューアーク (20%) がリストの最下位を締めくくっています。

SOURCE: Dodd Frank Update
https://bit.ly/3X6YHkb

PROVIDENT TITLE COMPANY